

事例 9

多世代交流

～お母さんとみんなの広場 手作りのおしゃべり・情報交換ができる広場です～

【磯子区事例】「mamariba」（平成 31 年 4 月開設）

団体紹介

- ・団体名：おかむら子育て応援隊『BaBariba』
- ・活動者の受講年度：平成 30 年度（第 2 期生）
- ・メンバー数：3 人+応援団
- ・活動実績：月 1 回開催、10 組前後の親子が参加
- ・活用制度：磯子区地域運営補助金（磯子区役所）



親子みんなで輪になって楽しくおしゃべり

活動内容

助産師の佐藤さんが、経験を生かして、地域で出産前後の母親のサポートをしたいという思いから、平成 30 年度「いそご地域づくり塾」を受講しました。受講後、磯子区社会福祉協議会や滝頭地域ケアプラザ等の支援を受け、平成 31 年 4 月から、岡村西部連合自治会の協力のもと、子育て経験豊富な 2 名の仲間とともに地元の自治会館で月 1 回「mamariba」を開催しています。

「mamariba」の名前の由来は、「ママのたまり場」で、主な対象は、2 か月から入園前の子どもと保護者、妊婦など。お茶タイムでほっこりしながら、自由におしゃべり・情報交換できる広場を目指しています。

「mamariba」ではストレッチや子育て情報の提供のほか、子育て支援拠点や区役所など関係機関と連携して、「乳幼児の救急法」など子育てに役立つ講話も実施しています。

また、令和 2 年 2 月に地域の梅まつりに参加し、「mamariba」を地域の皆様に紹介・PR しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和 2 年 3 月から活動を休止していましたが、令和 2 年 12 月に再開！検温、体調確認、手洗い・消毒、換気、マスク着用など感染防止に気をつけながら、「mamariba」を継続しています。

参加者からは、「ここでほかのお母さんたちと知り合いになれてよかった。」「1 歳を過ぎると行く場所が限られてくるのでここへ来るのが楽しみ」といった声が聞かれます。

主宰者の佐藤さんは、「『地域づくり塾』で学んだことで、思いを実現することができました。これからも地域のお母さん方が気軽に参加できる場として続けていきます。」と話していました。